

令和2年度 地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院 財務諸表の概要

1 財務諸表の概要

(1) 貸借対照表

令和3年3月31日における法人の資産、負債、純資産の状況を表示

【資産の部】		【負債の部】	
固定資産	72.6 億円 (▲ 2.5)	固定負債	60.1 億円 (▲ 2.6)
土地	29.6 億円 (±0.0)	流動負債	10.1 億円 (▲ 0.0)
建物	39.6 億円 (▲ 2.9)		
流動資産	28.5 億円 (+ 4.0)	【純資産の部】	
現金及び預金	20.4 億円 (+ 1.7)	資本金	24.9 億円 (±0.0)
		資本剰余金	52.5 億円 (+ 2.4)
		繰越欠損金	▲ 46.5 億円 (+ 1.6)
計	101.1 億円 (+ 1.5)	計	101.1 億円 (+ 1.5)

(2) 損益計算書

令和2年度における法人の収益とこれに対応する費用を記載し、当期純損失を表示

収益総額	47.5 億円 (+ 5.4)
営業収益	46.8 億円 (+ 5.3)
営業外収益	0.6 億円 (▲ 0.0)
臨時利益	0.1 億円 (+ 0.1)
費用総額	45.9 億円 (▲ 3.1)
営業費用	43.9 億円 (▲ 3.2)
営業外費用	1.9 億円 (▲ 0.0)
臨時損失	0.1 億円 (+ 0.1)
当期純利益	1.6 億円 (+ 8.5)
当期総利益	1.6 億円 (+ 8.5)

(3) キャッシュ・フロー計算書

令和2年度における現金・預金(キャッシュ)の増減を活動区分別に表示

I 業務活動によるキャッシュ・フロー	3.4 億円 (+ 5.6)
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	2.5 億円 (▲ 0.4)
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 1.3 億円 (▲ 0.1)
IV 資金増加額	4.7 億円 (+ 5.1)
V 資金期首残高	3.7 億円 (▲ 0.4)
VI 資金期末残高	8.4 億円 (+ 4.7)

(4) 行政サービス実施コスト計算書

法人の業務運営に関して、行政サービス実施コストに係る情報を集約して表示

I 業務費用	15.9 億円 (▲ 1.5)
(1) 損益計算書上の費用	45.9 億円 (▲ 3.1)
(2) 自己収入等(控除)	▲ 30.0 億円 (+ 1.7)
II 機会費用	0.1 億円 (+ 0.1)
III 行政サービス実施コスト	16.0 億円 (▲ 1.4)

※ ()内の数字は前年度との差額を表示

※ 各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

2 収支の状況

(1) 収支概要

令和2年度純利益……………163,239千円 → 851,123千円(対前年度差額)
 (令和元年度純損失……………▲687,884千円)

- ・収益については、補助金収入の増加により、前年度比で約13%の増加となった。
- ・費用については、営業費用全体の支出減により、前年度比で約7%の減少となった。
- ・収支差については、約1.6億円の黒字となった。

(2) 前年度比収支状況

(単位:億円)

	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2/R1	参 考
収益	42.0	43.4	44.4	42.2	47.5	113%	診療単価 (R1) (R2)
営業収益	41.3	42.7	43.4	41.5	46.8	113%	入院 37,817円 → 38,951円
うち入院収益	21.9	22.8	22.4	20.0	19.2	96%	外来 12,015円 → 12,133円
うち外来収益	9.7	9.9	10.3	10.0	9.1	91%	
うち運営費負担金	8.0	8.2	9.1	9.6	9.6	100%	患者数 (R1) (R2)
うち補助金等収益	0.3	0.2	0.3	0.3	7.4	2467%	入院 52,959人 → 49,268人
営業外収益	0.7	0.7	1.0	0.7	0.6	86%	外来 83,519人 → 74,858人
うち運営費負担金	0.6	0.6	0.6	0.5	0.5	100%	
臨時利益	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	-	一般病床利用率 (R1) (R2)
費用	48.1	48.4	50.5	49.1	45.9	93%	70.2% → 65.5%
営業費用	45.5	45.8	46.5	47.1	43.9	93%	
うち給与費	27.4	27.5	28.4	29.8	27.9	94%	
うち材料費	5.3	5.7	5.7	5.2	4.6	88%	
うち経費	7.8	7.6	7.6	7.9	7.6	96%	
うち減価償却費	4.9	4.8	4.7	4.1	3.7	90%	
営業外費用	2.7	2.6	2.5	2.0	1.9	95%	
うち支払利息	1.1	1.0	1.0	0.9	0.9	100%	
うち控除対象外消費税償却	1.7	1.6	1.5	1.1	1.1	100%	
臨時損失	0.0	0.0	1.5	0.0	0.1	-	
収支差	▲6.1	▲5.0	▲6.0	▲6.9	1.6	-	

※各項目毎において百万円単位を四捨五入しているため、各項目の数値の合計と合計欄の数値が一致しない場合がある。

(3) 前年度比収支変動の主な要因

ア 営業収益

うち入院収益	(0.8億円減)	新型コロナウイルス感染症流行による患者数の減少によるもの
うち外来収益	(1.0億円減)	新型コロナウイルス感染症流行による患者数の減少によるもの
うち補助金等収益	(7.1億円増)	新型コロナウイルス感染症関連補助金収入の増によるもの

イ 営業費用

うち給与費	(1.9億円減)	職員数の減少及び勤勉手当の減額によるもの
うち材料費	(0.6億円減)	患者の減少及び費用節減によるもの
うち減価償却費	(0.4億円減)	減価償却資産の減少によるもの